

# 特別回報

外航組合員各位

## 【改訂版】2023 保険年度の Excess War P&I 再保険について

※2023 年 2 月 8 日追記

再保険者との交渉の結果、追加のキャパシティが確保できました。すべてのロシアおよびヨーロッパの一部水域におけるカバー限度額は、一船一事故あたり 5,000 万米ドルから 8,000 万米ドルに変更となります。

下段、2023 年 2 月 6 日に発行した特別回報の内容を赤字のとおり改訂いたします。

2023 年 1 月 17 日付特別回報[第 22-022 号](#)をご参照ください。

先日ご案内したとおり、Excess War P&I カバーは 2023 年 2 月 20 日に更改を迎え、当該カバーに対する保険料は、2023 年 1 月 16 日に公表され翌 17 日の特別回報にてご案内した IG 再保険料に含まれています。しかし、ロシア・ウクライナ紛争の影響により再保険者が提供する保険カバーが縮小され、ロシアおよび一部のベラルーシ・ウクライナ水域を航行する船舶に対するカバー限度額が変更されることになりました。

以下の水域を通過および/または寄港している船舶への保険カバーは、一船一事故あたり **8,000 万米ドル**に制限されます。

- すべてのロシア水域（沖合 12 海里までの沿岸水域を含む）  
※ 加入船舶が日本の保険者に船舶戦争保険を付保している場合、宗谷海峡およびロシアが主権を主張している千島列島の沿岸 12 海里以内の水域の扱いは、船舶戦争保険者の約款に準じます。
- 下記のヨーロッパ水域
  - ヨーロッパ以下 a)~e)を結んだ線により囲まれたアゾフ海・黒海の水域および内水域
    - ウクライナ・ルーマニア国境の北緯 45 度 10.858 分、東経 29 度 45.929 分から公海の北緯 45 度 11.235 分、東経 29 度 51.140 分
    - 公海の北緯 45 度 11.474 分、東経 29 度 59.563 分を通過して公海の北緯 45 度 5.354 分、東経 30 度 2.408 分
    - 公海の北緯 44 度 46.625 分、東経 30 度 58.722 分を通過して公海の北緯 44 度 44.244 分、東経 31 度 10.497 分
    - 公海の北緯 44 度 2.877 分、東経 31 度 24.602 分を通過して公海の北緯 43 度 27.091 分、東経 31 度 19.954 分
    - ロシア・ジョージア国境の北緯 43 度 23.126 分、東経 40 度 0.599 分
  - ウクライナの内水全域

- 3) 以下のロシアの内水域
  - a) クリミア半島
  - b) ドン川（アゾフ海から東経 41 度の垂直線まで）
  - c) ドネツ川（ドン川からウクライナとの国境まで）
  
- 4) 北緯 52 度 30 分以南のベラルーシの内水全域

上記以外の水域を航行している船舶に関するカバー上限額（5 億米ドル）に変更はありません。

これに伴う P&I 戦争危険特別条項の改定については、別途ご案内します。

以上